

ベンチャー 起業家と ゴルフの

絶 妙な 関係

vol.18

起業家File17
富田賢



富田賢 SATOSHI TOMITA

慶應義塾大学大学院・後期博士課程修了、博士号(Ph.D.)取得。京都大学大学院経済学研究所修了、経済学修士。経営コンサルティング会社を東京・青山にて、10年以上経営し、200社以上の実績。また、東証1部上場企業の複数のコーポレート・ベンチャーキャピタル・ファンドを複数、受託運用を行う。2017年4月～立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(MBA)・教授に就任。カリフォルニア大学サンディエゴ校・客員研究員も兼務。2019年3月、社名を、コーポレート・ベンチャーキャピタル・ジャパン(株)(CVC JAPAN)に変更し、大手・中堅企業のCVC運営に注力。ベストスコア93。

今

今回のゲストはコーポレート・ベンチャーキャピタル・ジャパン株式会社の富田賢社長である。ベンチャーキャピタリストとして日本経済の発展に貢献する傍ら、ゴルフとビジネスに造詣が深い大学教授としてゴルフ外交などの政治問題についてもメディアで発信する富田社長が、これまでどのようにゴルフを嗜んできたのか伺った。

ビジネスマンに ゴルフは必須?

富田 まずは富田さんがゴルフを始めた時期について聞かせてください。
富田 会社経営を始めてちょうど2年後の2010年にゴルフを始めましたが、厳密に言うと、大学3年生の時にゴルフスクールに通っていましたので、その時がゴルフデビューになります。
富田 大学の時は本格的にゴルフ

富田 いえいえ。大学の時は就職活動で忙しく、まったくゴルフをやる機会がありませんでした。近所のゴルフスクールに半年くらい通ったかな。その後20年近くゴルフをしていませんので、ゴルフを本格的に始めたのは2010年頃になります。
富田 なぜ就職活動で多忙な時期に、ゴルフスクールに通おうと思ったのでしょうか?
富田 スクールに通った動機は、ビジネスマンにとってゴルフは必須だろうと思ったからです。語学などと同じで、必要に迫られてから始めるよりも、先手を打って準備しておくほうがいいと思い始めたものの、いざ就職してみたらゴルフをやる機会はありませんでした。

ビジネス交流会では出会 えない人脈と繋がること ができる

富田 スクールに通った動機は、ビジネスマンにとってゴルフは必須だろうと思ったからです。語学などと同じで、必要に迫られてから始めるよりも、先手を打って準備しておくほうがいいと思い始めたものの、いざ就職してみたらゴルフをやる機会はありませんでした。
富田 私もそう思いスクールに通ったのですが(笑)。外資系投資銀行

行の後は、ベンチャーキャピタルや日本の信託銀行にも勤めましたが、ゴルフとは全く縁がありませんでした。
富田 支店や営業部門ではやっていても、私の所属していた部門(資金運用部門)ではゴルフをする機会はありませんでした。個人的にやられている方はいたと思いますが。

富田 会社経営を始めてからゴルフの接待が増えたのでしょうか?
富田 ゴルフの接待というよりも、様々な方と交流を深めるためにゴルフコンペや個別のゴルフを活用しました。経営コンサルティング事業の新規顧客を増やすために、どうしてもいいだろるかと考えを巡らしている時に、ゴルフコンペに参加するという解決策が頭に浮かんだのです。

それで、20年ぶりにゴルフスクールに通い始め、コンペに積極的に参加するようになりました。
富田 実際にゴルフがきっかけで取引が始まったケースもあるのでしょうか?
富田 おかげさまで良いご縁が沢山ありました。ある時は、ゴルフの最中に雨が降ってきて、一緒に雨宿りしていた方と仲良くなり、お取引が始まりました。

で引き合わせをした方が良いケースもあるんですよ。大事なのは1つのやり方に固執するのではなく、数多くの解決策を用意しておくことですね。その中の1つとしてゴルフという選択肢は間違いなく有効です。
富田 ビジネスマンはゴルフをやるべきですね。

戦国武将にとつての槍と馬

富田 若い世代のビジネスマンからは、ゴルフは道具やブレイ代にお金がかかるから取り組みづらいというネガティブな声を聞くことも多いのですが、絶対にゴルフのメリットにも目を向けるべきです。普通のビジネス交流会では出会えない人脈を築いたり、お客様と年に1回のゴルフコンペで良好

富田 若い世代のビジネスマンからは、ゴルフは道具やブレイ代にお金がかかるから取り組みづらいというネガティブな声を聞くことも多いのですが、絶対にゴルフのメリットにも目を向けるべきです。普通のビジネス交流会では出会えない人脈を築いたり、お客様と年に1回のゴルフコンペで良好

な関係を維持したりできるわけです。ビジネスマンにとつて英語とゴルフは、戦国武将にとつての槍と馬だと思えます。
富田 それは面白い捉え方ですね。まさに強力な武器ですね!
富田 私にとつてゴルフは、スコアは伸びないものの(笑)、武器であり、仕事の1つです。ですが単なる仕事ではなく、日頃、海外出張にタイトな日程で多数行ったり、大学教授として多数の講義をしたりする中でお付き合いのある方々と一緒にゴルフを回らせて頂いて、リレーションを構築しつつ、運動にもなる貴重なリラククス時間でもあります。その一方、ゴルフは難しいスポーツなので、思い通りにプレーできず、リフレッシュどころではなくなる時もあります。それが原因で過去に何度も何度も引退の危機が...

富田 ゴルフとビジネスに造詣が深い大学教授&ビジネスマンとして、生涯現役でプレーしてください(笑)
富田 ゴルフからの引退は半分冗談ですが、ゴルフをこれまで続けている理由の1つはビジネス面の実利があるからです。実は、私は乗馬もするのですが、乗馬は仕事のプラスになることはほとんどないです。そこが、ゴルフと他のスポーツとの違いですね。それから高齢になっても続けられるスポーツというのもゴルフが続けている理由です。70歳代の方でも一緒に楽しむことができるといいます。
富田 適度な運動になるから健康増進にも繋がりますね。最後にお気に入りのゴルフ場を教えてください。

富田 武蔵丘ゴルフコースと久邇カントリークラブが好きです。池袋駅からレッドアロー号で飯能駅まで行き、そこからタクシーで10分。交通の便が抜群にいいです。駅前にホテルもあるので前泊で行くことが多いです。それから埼玉県にある平成倶楽部も好きです。平成倶楽部は好スコアが出やすいので接待向きです。
富田 引退の危機が訪れた時は、平成倶楽部で好スコアを出してください(笑)。本日はありがとうございました。

私のNEWギア速報



今回ご登場いただいた富田さんは、年間でいくつものアイアンセットやドライバー、パターを買い替えるほどギア好きで、「練習しなくてもうまく打てるクラブこそが、自分に合った良いクラブ。」というのがモットーだという。

「過去にはクラブを複数購入して、すぐそのままゴルフ場に持っていったこともあります。打つ時にビニールの梱包を解いたら、同伴者の方が驚いた様子でこちらを見ていました」と、富田さんは柔和な表情で語る。

一方で、富田さんは自分に合わない道具に対しては素早くシビアな意思決定でクビにする。ハーフラウンドで見切りをつけたアイアンやパターもあるとのこと。そんな富田さんが最近購入したのはピンのG400ドライバー。

「これを使うと飛距離はそれほどではないが、テレビドラマのドクターXの大門加奈子のように「私、失敗しないから...」になれます(笑)」と好感。購入直後にピンタム島でラウンドしたところ、ベストスコアを更新したのだとか。

鹿島 永悟 EIGO KASHIMA

WEBディレクションジャパン代表取締役。東証一部上場企業からベンチャー企業まで幅広いクライアントを持つインターネット集客の専門家。これまでに100社以上の広告キャンペーンに参画する。2017年10月より、クラウド顧問コンサルティングにてインターネット戦略の顧問として参画。ゴルフは2017年2月19日にデビュー。ベストスコア92。日本ゴルフジャーナリスト協会会員。

